



令和 2 年 6 月 25 日

しののめ信用金庫 第 75 期（令和 2 年 3 月期）決算を発表

社会経済の成熟化や超低金利政策の長期化など、経営環境の変化に即応した組織体制の構築等を目的として構造改革を実行した結果、コア業務純益は前期対比 508 百万円増加し 1,812 百万円を計上。当期利益は構造改革費用や個別貸倒引当金の積み増しにより、937 百万円の損失を計上。

▼ しののめ信用金庫（理事長 横山 慶一）は 6 月 25 日、通常総代会を開催し令和 2 年 3 月期（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）の決算報告を行った。令和元年度は、経営方針である「価値創造金庫を目指す」ことを組織全体に浸透、定着させることを基本的方針としつつ、厳しい経営環境下であっても経営の持続性と安定性を高めることを目的として様々な改革も実行した。また、異次元金融緩和と政策、マイナス金利政策のもとでは無理に量を追求せず、お客様へのサービスの質をより高めていくことを最優先とする組織運営に当たったとしている。

▼ 損 益

- ・ 業務収益は、貸出金利息の減少（142 百万円、2.20%）や預け金利息の減少（254 百万円、40.56%）を要因として資金運用収益が 168 百万円（1.67%）減少したものの、低金利が継続している状況を背景に債券の売却益を確保した結果、前期比 7 百万円増加（0.06%）し 11,834 百万円となった。
- ・ 経常収益は、臨時収益が 116 百万円減少したこと、前期比 109 百万円（0.86%）減少し 12,460 百万円となった
- ・ 業務費用は、預金利息などの資金調達費用や経費の削減により 822 百万円（7.96%）減少し、9,504 百万円となった。
- ・ 経常費用は、個別貸倒引当金の積み増しや構造改革関連費用の計上による臨時費用の増加により、前期比 1,514 百万円（13.6%）増加し、12,643 百万円となった。
- ・ この結果、経常利益は△182 百万円、税引前当期純利益は△473 百万円となり、また、繰延税金資産の取り崩しを主とする法人税等調整額を 440 百万円計上し資産の健全化を図ったことから、当期純利益は△937 百万円の計上となった。
- ・ 金融機関の本来業務での収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息、預け金利息など資金運用収益は減少したものの、経費の削減を要因として 1,812 百万円となり、前期比 508 百万円、38.95%の増益となった。
- ・ 自己資本比率は、0.06%低下して 7.20%となっている。

▼ 預金

- ・ 預金は残高で、前期比 5,142 百万円（0.52%）増加し 975,873 百万円となり、期中平均残高は、前期比 130 百万円（0.01%）増加し 978,900 百万円となった。



▼ 貸出金

- ・ 貸出金は残高で、前期比 6,982 百万円 (1.52%) 減少し、449,767 百万円となり、期中平均残高は、前期比 4,631 百万円 (1.03%) 増加し 453,958 百万円となった。地方公共団体向けの貸出を減少させたことが貸出金残高の減少要因です。
- ・ 令和 2 年 2 月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売上の減少など厳しい経営環境にあるお客さまを金庫を挙げて支援すべく、全営業店に相談窓口を設置したほか、当金庫独自に「新型コロナウイルス対応特別融資」の取扱いを開始するとともに、各市町村による制度融資等にも積極的に対応している。

1. 主要勘定・指標等

単位：百万円、%

項 目	2 年 3 月期	31 年 3 月期	増 減	増減率
預 金 期末残高	975,873	970,731	5,142	0.52
預 金 期中平均残高	978,900	978,770	130	0.01
貸 出 金 期末残高	449,767	456,749	△6,982	△1.52
貸 出 金 期中平均残高	453,958	449,327	4,631	1.03
業 務 純 益	2,329	1,499	830	55.36
コア業務純益	1,812	1,304	508	38.95
経 常 利 益	△182	1,440	△1,623	△112.69
当期純利益	△937	809	△1,746	△215.82
自己資本比率	7.20	7.26	△0.06	-

業務収益＝資金運用収益＋役務取引等収益＋その他業務収益

業務費用＝資金調達費用＋役務取引等費用＋その他業務費用＋一般貸倒引当金繰入額＋経費

業務純益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）

コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

2. 金融再生法に基づく開示債権

単位：百万円、%

項 目	2 年 3 月期	31 年 3 月期	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,705	3,054	△349
危険債権	12,086	11,449	637
要管理債権	4,171	2,735	1,435
金融再生法上の不良債権合計	18,963	17,239	1,723
正常債権	431,968	440,831	△8,863
合 計	450,931	458,071	△7,139
不良債権比率	4.20	3.76	0.44



役員 の 異 動

1. 昇任理事

氏 名	略歴、地位、担当および他の法人等の代表状況
<u>専務理事</u> 木村 恵治 (昭和 30 年 4 月 29 日生)	平成 25 年 6 月 理事・経営相談部長委嘱 平成 27 年 6 月 理事・融資部長委嘱 平成 28 年 9 月 理事・融資部担当役員 平成 29 年 6 月 常務理事 (現任)

2. 退任監事

氏 名	略歴、地位、担当および他の法人等の代表状況
<u>監 事</u> 清塚 博行 (昭和 21 年 7 月 5 日生)	平成 23 年 12 月 群馬県火災共済協同組合専務理事退任 群馬県商工共済協同組合専務理事退任 平成 24 年 6 月 監事

3. 新任理事

氏 名	略歴、地位、担当および他の法人等の代表状況
<u>常勤理事</u> 神宮 勝巳 (昭和 41 年 3 月 7 日生)	昭和 63 年 4 月 入庫 平成 22 年 9 月 高瀬支店長 平成 24 年 9 月 本店営業部副部長 平成 25 年 3 月 前橋南支店長 平成 27 年 10 月 下仁田支店長 平成 30 年 3 月 総合企画部担当部長 平成 31 年 4 月 執行役員・総合企画部長 令和 1 年 4 月 執行役員・総合企画部本部長 (現任)

4. 新任監事

氏 名	略歴、地位、担当および他の法人等の代表状況
<u>監 事</u> 塚田 宏 (昭和 29 年 6 月 8 日生)	昭和 54 年 4 月 群馬県信用保証協会 入協 平成 27 年 4 月 群馬県信用保証協会 退職 平成 27 年 4 月 群馬県信用保証協会 常勤理事 平成 31 年 4 月 群馬県信用保証協会 常務理事 令和 2 年 3 月 群馬県信用保証協会 退任

※ 本件に関するお問い合わせは、下記までお寄せください。

〒370-0851 群馬県高崎市上中居町 58 番地
 しののめ信用金庫 総合企画部 神宮・大島
 TEL 027-330-1174 FAX 027-326-5522
 以上